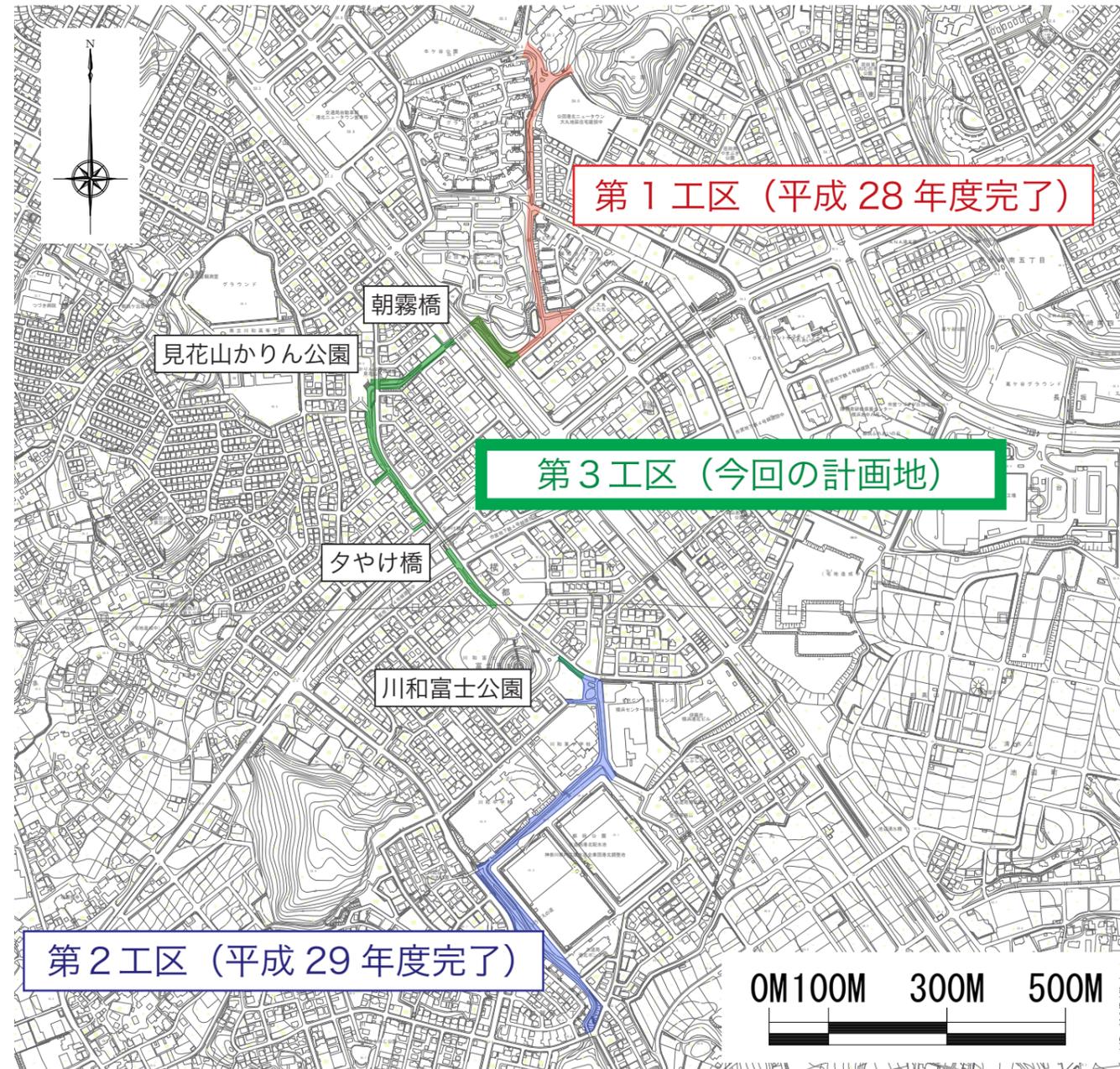


ゆうばえのみち再整備工事（その2）現地検証会

ゆうばえのみち再整備工事（その3）現地説明会



平成30年6月16日

都筑土木事務所

ゆうばえのみち再整備工事の基本的な考え方

※ H29年6月 ゆうばえのみち（その2） 工事説明会と同じ資料

港北ニュータウンのまちづくりには、「グリーンマトリックス」という考え方が取り入れられました。15kmにおよぶ五つの緑道（公園）を主骨格とし、そこから枝葉のように自転車歩行者専用道路を張り巡らせることで、車と歩行者を分離する、緑地を連続させることで実際の量以上に緑を感じることができるようにするなどの効果があります。

「ゆうばえのみち」はそのうちの一つです。昭和59(1984)年に整備、公開されました。川和台・加賀原方面と都筑ふれあいの丘周辺を結ぶ主要な導線として多くの方に利用されています。開通から30年が経過し、自然石舗装などは時が刻まれ風格が増す一方で、経年による課題もあり、今回の再整備で解消をめざします。

開通当初

現在

安心・安全な空間

- ・ 車と歩行者を分離
- ・ 散歩やランニング
- ・ 安全な通学路



風格のある空間

- ・ 自然素材を多用した質感とデザイン性の高い施設群



やすらげる空間

- ・ 緑が多く、潤いのある住環境
- ・ 騒音などを遮断



社会情勢の変化

- ・ グリーンライン開通
- ・ 自転車利用者増加
- ・ 高齢化、財政的制約

経年による変化

- ・ 劣化や破損による機能不全
- ・ 高機能素材の登場

樹木の生長

- ・ 高密度化、生育不良
- ・ 見通しの悪化(防犯)
- ・ 生物多様性の視点

約30年が経過し、緑量が増して周囲の風景になじむ一方、様々な課題が生じています。

当初の理念を活かしながら課題を解決し、次の30年も地域に愛される「ゆうばえのみち」を目指します。

誰もが安心・安全に

- ・ 自転車のゆるやかな分離
- ・ 植栽の手入れ(見通し等)

誰もがやすらげる

- ・ 劣化箇所の補修
- ・ バリアフリー化の推進

風格ある空間を継承

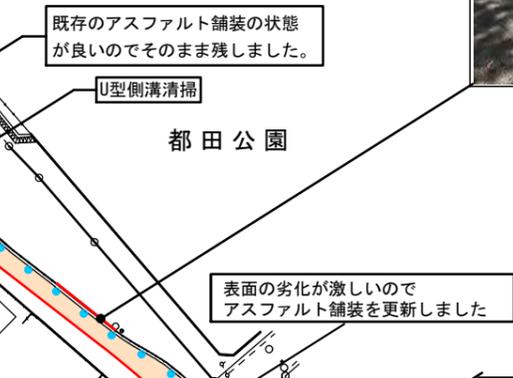
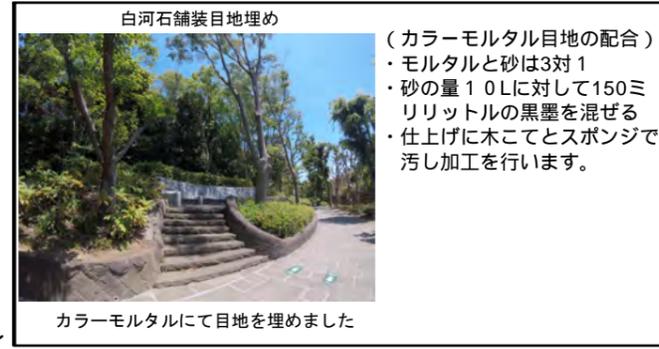
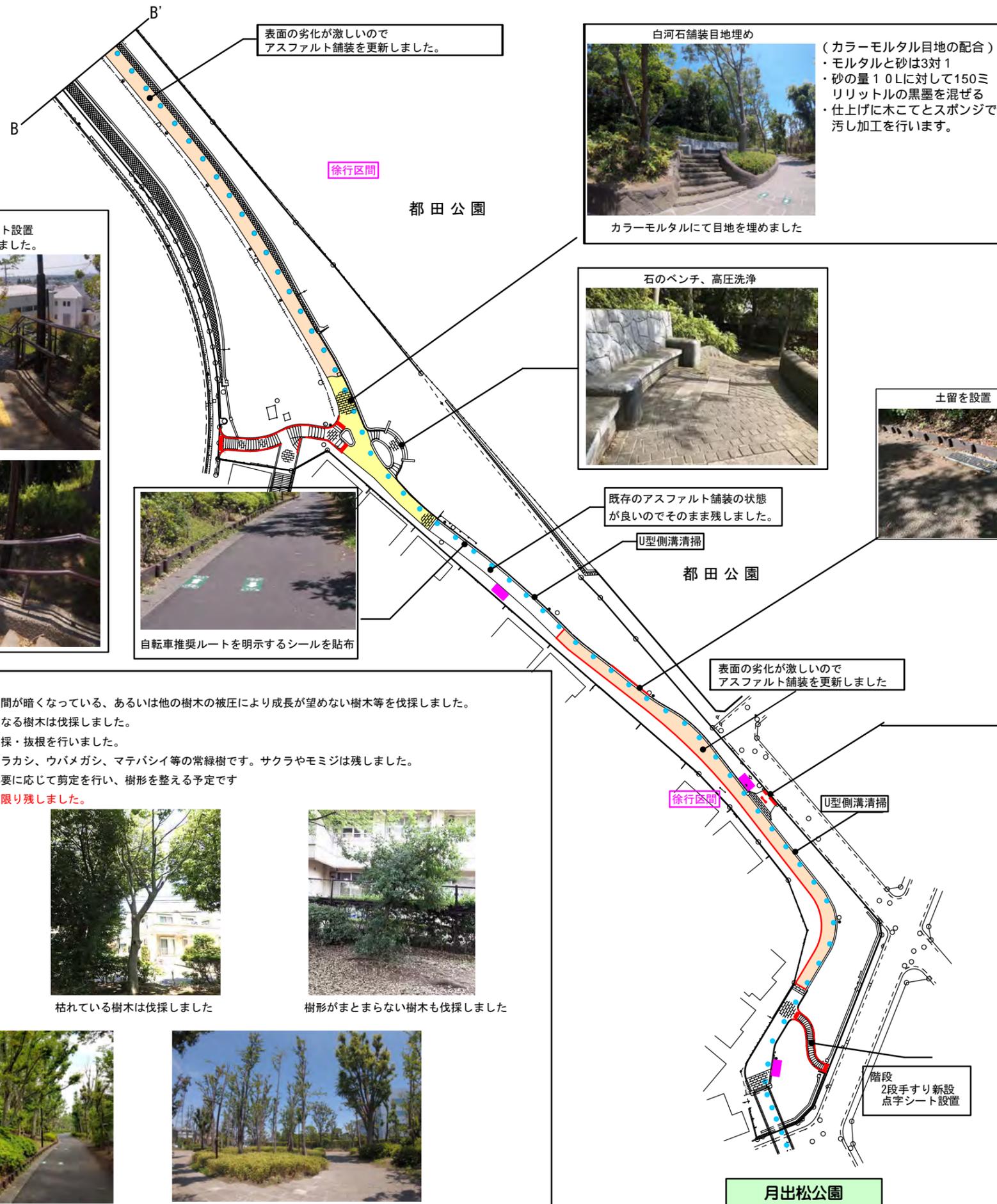
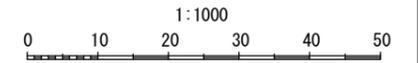
- ・ 当初整備の理念を活かす
- ・ 緑豊かな住環境を確保

次世代へつなぐ工夫

- ・ 維持管理やコスト面にも配慮した手法を模索

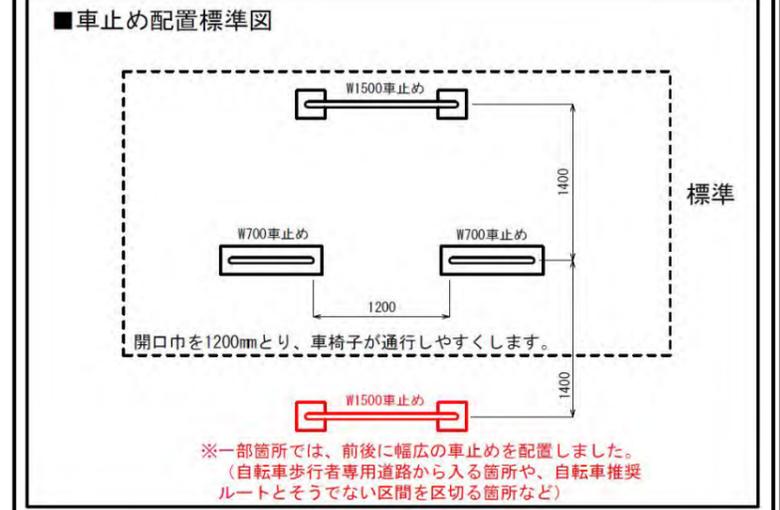
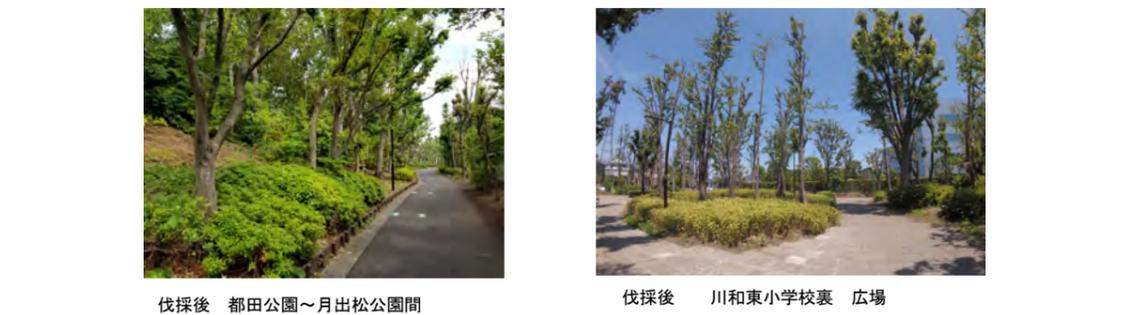
ゆうばえのみち再整備工事(その2)

現地検証会



■樹木について

1. 樹木が過密化しており、視界を遮り空間が暗くなっている、あるいは他の樹木の被圧により成長が望めない樹木等を伐採しました。
2. 歩行者の安全を確保するために支障となる樹木は伐採しました。
3. 園路拡幅により影響がある樹木は、伐採・抜根を行いました。
4. 伐採を行う樹種は、主にアラカシ、シラカシ、ウバメガシ、マテバシイ等の常緑樹です。サクラやモミジは残しました。
5. 伐採を行いましたが、残った樹木は必要に応じて剪定を行い、樹形を整える予定です
6. 樹形のよいものや貴重なものはできる限り残しました。



■電気設備改修

ゆうばえのみちの他の工区の照明灯と
同じデザインのものにします。

古いタイプの照明灯は灯具
のLED化と柱の再塗装を
行い、残します。



既設照明灯

ゆうばえのみち
他工区で採用し
ている照明灯

既設照明灯
(笠型)

看板F設置 (既存板面撤去)

横断みぞをグレーチング蓋つき
横断側溝に改修

横断みぞ撤去
段差解消

計画地 (第3工区)

第1工区との重複範囲

第1工区

看板設置

花木等植栽
(アナベル等)

照明灯
撤去・新設

横断溝撤去
段差解消

照明灯
新設

照明灯
新設

照明灯
撤去・新設

看板A設置 (既存板面撤去)

照明灯
撤去・新設

横断みぞグレーチング蓋付
横断側溝に改修

一段パイプ柵再塗装

照明灯
撤去・新設

デザイン手すり整備

丸太土留撤去・プラ擬木土留設置

看板新設

プラ擬木土留設置

デザイン手すり整備

照明灯
撤去・新設

照明灯
撤去・新設

横断溝撤去
段差解消

丸太土留撤去・プラ擬木土留設置

■電気設備改修 (図中青点線周辺)



(現況) 見花山かりん公園東側付近

見花山かりん公園の東側の区間は、園路灯設置間隔が広く、暗いため、防犯性改善のためを照明灯を追加します。

■凡例

■電気設備

○ 照明灯改修

■排水設備

■横断側溝改修 (グレーチング蓋交換)

■デザイン側溝清掃

■V型側溝蓋改修 (段差解消、排水経路改修)

■雨水樹蓋改修

■横断みぞ改修

■園路舗装

■石舗装改修 (段差解消)

■透水性脱色アスファルト舗装に変更

■石舗装滑り止め改修

■土系舗装 (真砂土)

■自転車・バイク誘導

○ 自転車誘導看板改修 (現況に適合する板面にする)

○ オートバイ乗り入れ禁止看板撤去 (パイプ柵を設置するため撤去します)

■ 路面標示サイン「押し歩き」設置

→ 推奨ルート：緑道部 (未整備) 路面標示サイン「ゆっくり」設置 (路面標示サイン未設置の緑道内推奨ルート範囲)

→ 推奨ルート：緑道部 (整備済み)

→ 推奨ルート：一般 (幹線) 部

■その他施設

■1段パイプ柵設置

■柵再塗装

■手すり改修

■車止め改修

■土留め設置

■花木等植栽

■自転車等の誘導

推奨ルート設定以前に設置された看板を現況に合わせた内容の板面に改修します。
変更する看板の候補 (全6種類)

名称	看板A	看板B	看板C
板面デザイン			
内容	推奨ルート入口「ゆっくり」	推奨ルート外の入口「押し歩き」	推奨ルート外の途中「押し歩き」

名称	看板D	看板E	看板F
板面デザイン			
内容	推奨ルートの途中「ゆっくり」	推奨ルートの途中「押し歩き」	推奨ルートの入口「押し歩き」

自転車推奨ルートに決定されている区間なので、「ゆっくり」通行を促す路面表示を、推奨ルート外の緑道入口、推奨ルートの端点は自転車を降りて「押し歩き」を促すように路面標示設置します。



路面標示「押し歩き」



路面標示「ゆっくり」



■凡例

■電気設備

⊖ 照明灯改修

■排水設備

横断側溝改修 (グレーチング蓋交換)

デザイン側溝清掃

V型側溝蓋改修 (段差解消、排水経路改修)

雨水樹蓋改修

横断みぞ改修

■園路舗装

石舗装改修 (段差解消)

透水性脱色アスファルト舗装に変更

石舗装滑り止め改修

土系舗装 (真砂土)

■自転車・バイク誘導

⊕ 自転車誘導看板改修 (現況に適合する板面にする)

⊖ オートバイ乗り入れ禁止看板撤去 (パイプ柵を設置するため撤去します)

■ 路面標示サイン「押し歩き」設置

■その他施設

1段パイプ柵設置

柵再塗装

手すり改修

車止め改修

土留め設置

花木等植栽



■舗装改修

自転車推奨ルートであるため、
 歩行者との交錯を防ぐため、
 ハードな舗装部分を広くします。

周辺景観に配慮し、アスファ
 ルト舗装から土系舗装に改修
 します。



既設コンクリート舗装



既設アスファルト舗装



透水性脱色アスファルト舗装
 (改修後イメージ)



土系舗装 (改修後イメージ)
 (ゆうばえのみちメゾン桜ヶ丘付近)

斜路が雨や苔で荒天時滑りやすくな
 っているため、目地に滑り止め
 加工を施し、片側にデザイン手す
 りを設置します。



白河石舗装の、荒天時滑りやすい斜路

舗装の根上がりが見られる箇所
 は不陸調整をして段差の無い園
 路にします。



不陸が見られる既存園路

■排水設備改修

側溝を清掃します。



既設デザイン側溝

通行時の交通安全性のため、
 細目ダグタイル铸铁蓋付き
 の横断側溝への改修や、白
 河石による段差解消をしま
 す。



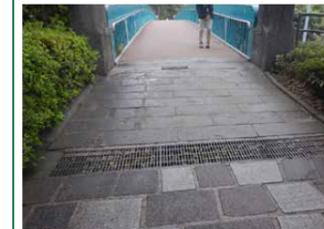
既設横断みぞ

園路を横断しているV型側溝
 を撤去し、段差解消します。



既設V型側溝 (園路横断部)

並目グレーチング蓋の横断側溝や雨水樹蓋は、細目グレーチング蓋 (焼き付け塗装) に交換します。



既設横断側溝

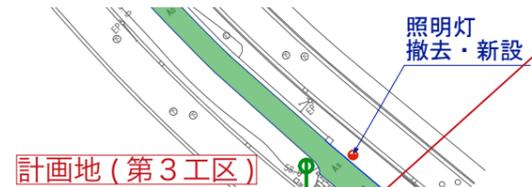


既設雨水樹蓋



改修後のイメージ (鴨池公園)

1段パイプ柵設置
 バイク、自転車の乱横断を防止する



■ 樹木処理

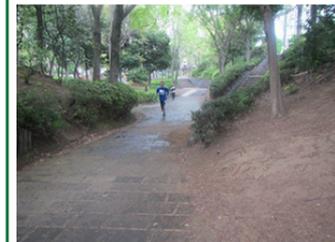
適切に間引き、剪定処理を行い、見通しがよくすっきりした緑道にします。



1. 樹木が過密化しており、視界を遮り空間が暗くなっている、あるいは他の樹木の被圧により成長が望めない樹木等を伐採します。
2. 歩行者の安全を確保するために支障となる樹木は、伐採します。
3. 園路拡幅により影響がある樹木は、伐採・抜根を行います。
4. 伐採は、全体の25～30%程度を予定しています。
5. 伐採を行う樹種は、主にアラカシ、シラカシ、ウバメガシ、マテバシイ等の常緑樹です。サクラやモミジは出来るだけ残します。
6. 伐採を行い、残った樹木は必要に応じて剪定を行い、樹形を整えます。

■ その他の改修

法面の土流れがみられるため、新しい土留め更新したり、無い箇所は新設します。



土が流れた現況法面

老朽化した既設土留め

塗装のはがれたパイプ柵は再塗装します。



塗装がはがれた既設1段パイプ柵

自転車・バイクの走行状態での進入を防ぎ、さらに車椅子やベビーカーが通行可能な幅で再配置します。



既設車止め

自転車やバイクによる乱横断が見られる箇所は、進入を防止するためパイプ柵を設置します。



バイクの横断がたびたび見られる植栽帯

階段やスロープにバリアフリー対応の2段手すりを設置します。また、既設の1段手すりも2段に改修します。



朝霧橋東側改修済みのデザイン手すり
(本整備箇所と同じデザインの手すりを設置)

■ 凡例

■ 電気設備

⊕ 照明灯改修

■ 排水設備

横断側溝改修 (グレーチング蓋交換)

デザイン側溝清掃

V型側溝蓋改修 (段差解消、排水経路改修)

雨水樹蓋改修

横断みぞ改修

■ 園路舗装

石舗装改修 (段差解消)

透水性脱色アスファルト舗装に変更

石舗装滑り止め改修

土系舗装 (真砂土)

■ 自転車・バイク誘導

⊕ 自転車誘導看板改修 (現況に適合する板面にする)

⊖ オートバイ乗り入れ禁止看板撤去 (パイプ柵を設置するため撤去します)

■ 路面標示サイン「押し歩き」設置

■ その他施設

1段パイプ柵設置

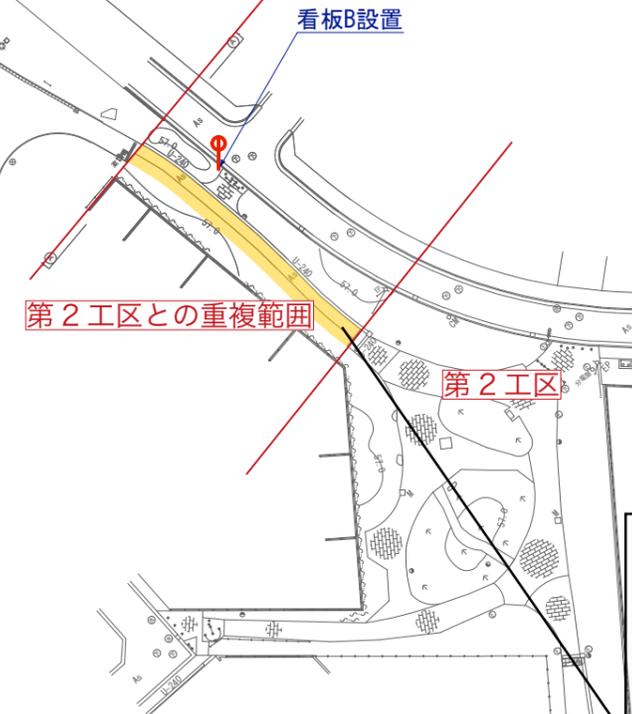
柵再塗装

手すり改修

車止め改修

土留め設置

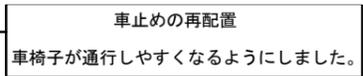
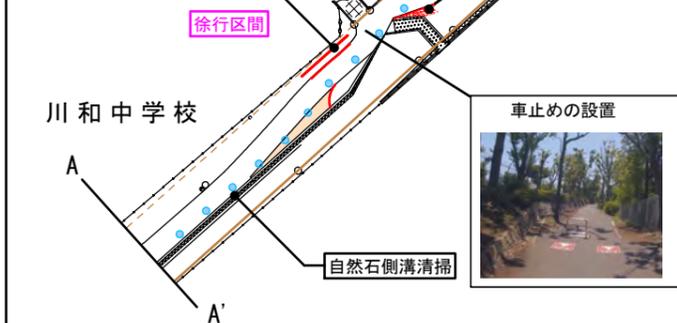
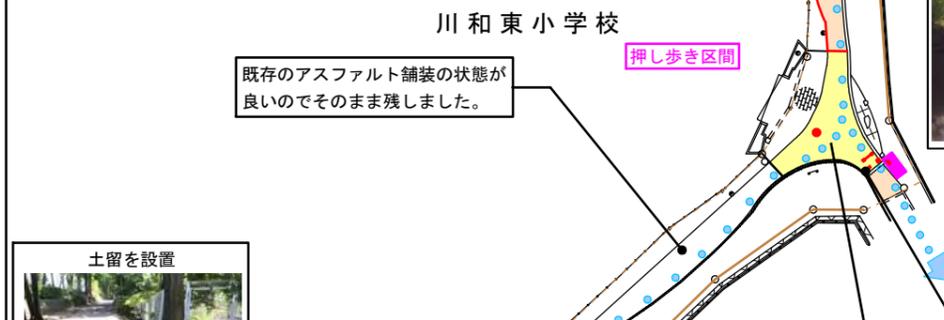
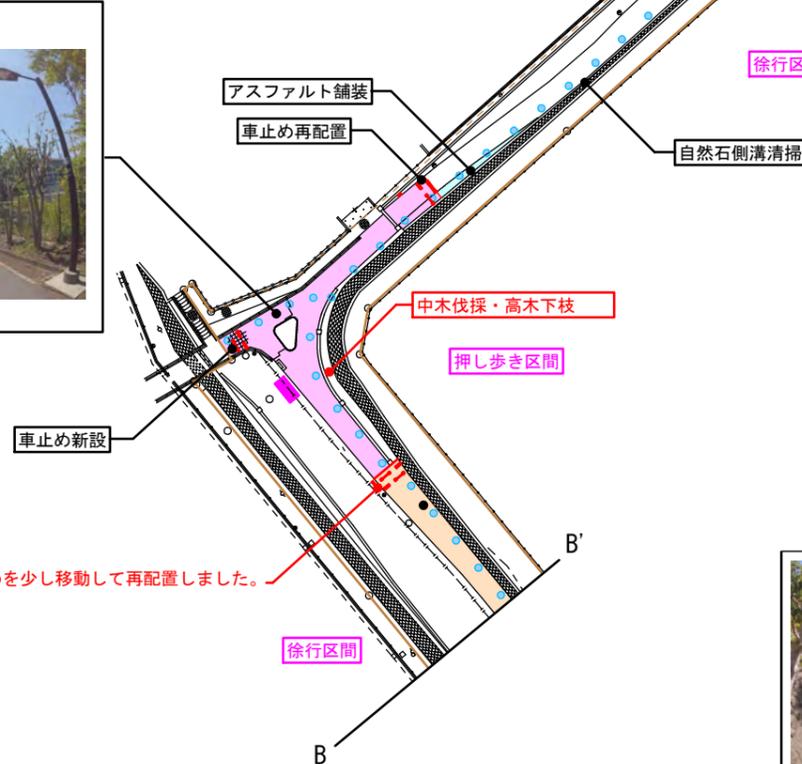
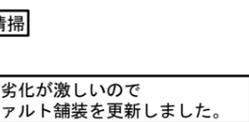
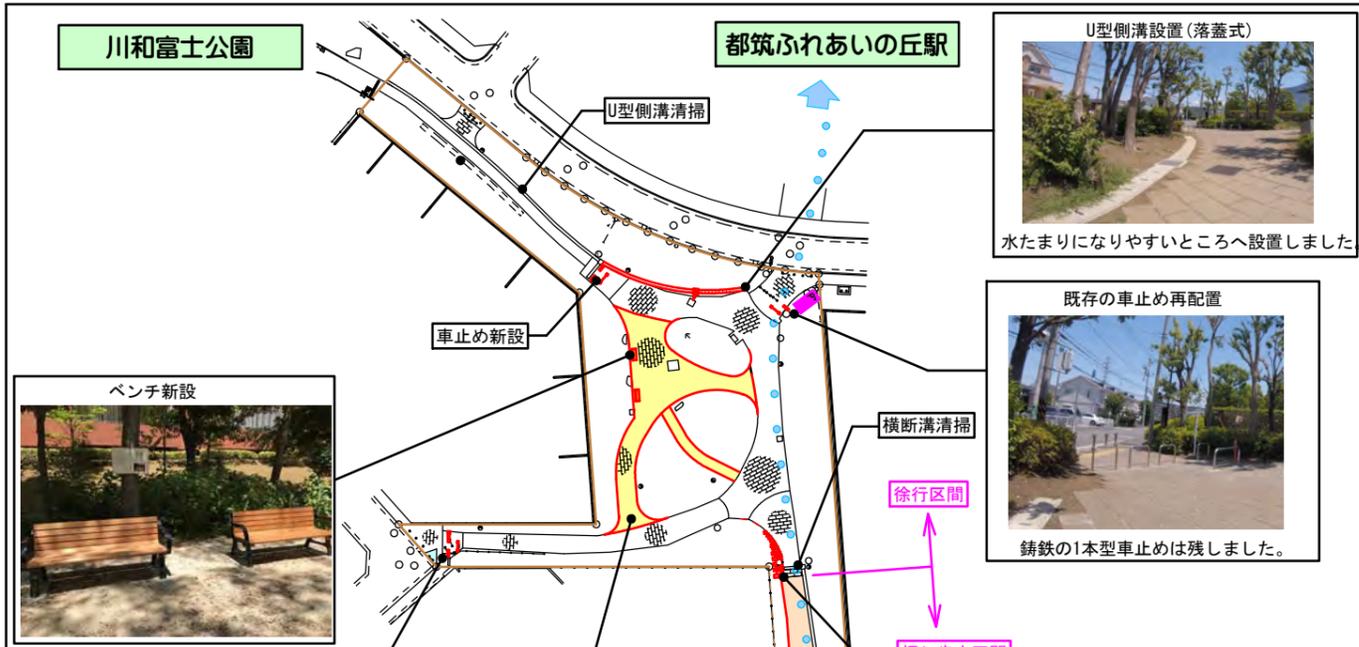
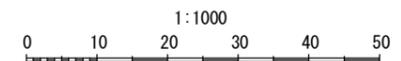
花木等植栽



第2工区で舗装の仕様が決まらず残した範囲
川和富士公園との一体性を考慮するため
脱色アスファルト舗装を行います。

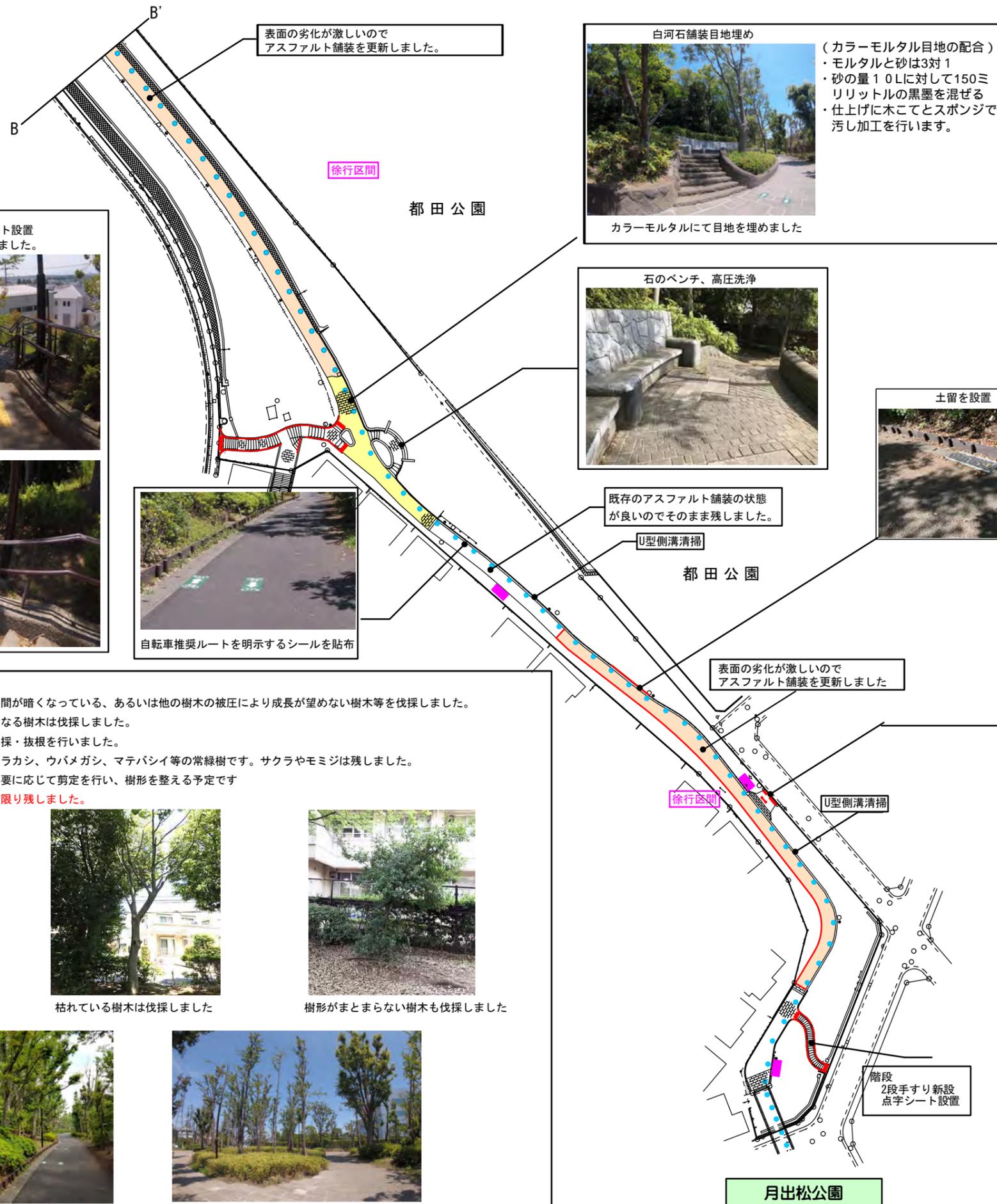
ゆうばえのみち再整備工事(その2)

現地検証会



ゆうばえのみち再整備工事(その2)

現地検証会



表面の劣化が激しいので
アスファルト舗装を更新しました。

白河石舗装目地埋め

(カラーモルタル目地の配合)
 ・モルタルと砂は3対1
 ・砂の量10Lに対して150ミリリットルの黒墨を混ぜる
 ・仕上げに木こてとスポンジで汚し加工を行います。

カラーモルタルにて目地を埋めました

階段部 手すり・点字シート設置
デザイン2段手すりを設置しました。

自転車推奨ルートを示すシールを貼布

石のベンチ、高圧洗浄

既存のアスファルト舗装の状態が良いのでそのまま残しました。

土留を設置

U型側溝清掃

表面の劣化が激しいので
アスファルト舗装を更新しました

車止め交換、再設置

■樹木について

1. 樹木が過密化しており、視界を遮り空間が暗くなっている、あるいは他の樹木の被圧により成長が望めない樹木等を伐採しました。
2. 歩行者の安全を確保するために支障となる樹木は伐採しました。
3. 園路拡幅により影響がある樹木は、伐採・抜根を行いました。
4. 伐採を行う樹種は、主にアラカシ、シラカシ、ウバメガシ、マテバシイ等の常緑樹です。サクラやモミジは残しました。
5. 伐採を行いましたが、残った樹木は必要に応じて剪定を行い、樹形を整える予定です
6. 樹形のよいものや貴重なものはできる限り残しました。

樹木が過密していて暗い所は間きました

枯れている樹木は伐採しました

樹形がまとまらない樹木も伐採しました

伐採後 都田公園～月出松公園間

伐採後 川和東小学校裏 広場

■車止め配置標準図

標準

開口巾を1200mmとり、車椅子が通行しやすくします。

※一部箇所では、前後に幅広の車止めを配置しました。
(自転車歩行者専用道路から入る箇所や、自転車推奨ルートとそうでない区間を区切る箇所など)

(仮称) 都筑区緑道再整備ガイドライン 論点チェックシート

【舗装の考え方について】

緑道再整備の基準となる舗装の仕様について、ゆうばえのみち意見交換及び工事説明会で議論を行いたいと思います。

<p>(当初の考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石と土で ふるさとを感じられる空間にし、排水はせせらぎに流す等の考え方で整備を行っていた。 ・舗装材は基本的には二次製品は排除し、エイジングする素材を選択していた。 <p>(港北ニュータウン設計マニュアル参照)</p>	➔	<p>(改修の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がたつきがあり歩きにくい ・舗装がすべて危険のため ・舗装に水たまりができたりぬかるんでいるため歩きにくい。 ・橋のたわみで鉄平石の舗装が割れて段差やがたつきが生じる、 	<p>(これまでの改修の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ 白河石の目地を埋めた ➔ 鉄平の舗装はショットブラスト加工 ➔ 土舗装はアスファルト舗装や平板に ➔ 橋の接続部を脱色アスファルト舗装
--	---	--	---

(土木事務所の考え方)

当初の舗装	今後のアプローチ	舗装材仕様決定フローチャート		
<p>白河石</p>	<p><u>原則として残す</u> 白河石を残すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目地に滑り止め加工を施す ・コケが生えないように樹木の手入れを行う。 ・高圧洗浄ですべりの原因となるコケを落とす。 	<pre> graph TD A[自転車推奨ルート] -- 赤 --> B[利用強度中以上] A -- 赤 --> C[利用強度弱] A -- 青 --> D[利用強度中以上] A -- 青 --> E[利用強度弱] B -- 赤 --> B1[脱色アスファルト舗装 (鴨池公園)] C -- 赤 --> C1[黒アスファルト舗装 (ゆうばえのみち)] D -- 青 --> C1 E -- 青 --> E1[土舗装 (真砂土やダスト舗装) (ゆうばえのみち)] </pre>		
<p>石 鉄平石 タイ 平石 ル タイル</p>	<p><u>橋の接続部以外は原則残す</u> (橋の接続部状況に応じて判断する) 鉄平石の舗装を残す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショットブラスト加工を行う ・コケが生えないように樹木の手入れを行う。 ・高圧洗浄ですべりの原因となるコケを落とす。 			
<p>土舗装</p>	<p>利用ゾーンに応じた舗装の仕様を決定 右図の舗装材仕様決定フローチャートを参考に進めていく。</p>			
		<p>脱色アスファルト舗装 (鴨池公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度にかかわらず公園の接続部やメインの園路に使用する。 	<p>黒アスファルト舗装 (ゆうばえのみち)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水がとれずぬかるみが多い場所 ・勾配がおおむね3%以上 	<p>土舗装 (真砂土やダスト舗装) (ゆうばえのみち)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勾配がおおむね3%未満 排水が取れる場所 ・木質アスファルト等状況によって検討する

☆自転車推奨ルートのうち、歩道部や歩行者専用道路の接続部、公共施設の出入り口と等人通りが多く危険度が高い区域についてはカラー舗装とする。
 なお、カラーについては周辺施設との調和を考慮した素材を検討する。(例 1)
 ☆園路幅がおおむね4m未満の緑道については複数の舗装材を使用しない。(例 2)

<p>例 1 周辺施設との調和を考慮した舗装 (川和東小学校のインターロッキング)</p>	<p>例 2 複数の舗装材が使用された舗装 (ゆうばえのみち見花山かりん公園前)</p>
---	--

(仮称) 都筑区緑道再整備ガイドライン 論点チェックシート

【これまでの工事における施設改修の工夫点について】

これまでの工事における都筑土木事務所の工夫をまとめました。今後はこの事例を活かした緑道の再整備を行っていきます。

景観・デザインに配慮

多様化する利用者の要望

バリアフリーの基準に適合

バリアフリーの基準に適合



当初設計の考え方であるエッジレスを継承するためスチールエッジを使用
(鴨池公園)



デザイン手すりを現在の基準に合うように2段に改修
(ゆうばえのみち)



杖などが穴に入りくい細目の横断側溝やグレーチングの蓋を茶色に焼付塗装
(鴨池公園)



白河石の目地の汚し加工とカラーモルタルを使用 (ゆうばえのみち)



白河石を再利用した土留めを設置。ベンチ等の複合的な機能をもたせた。
(鴨池公園)



緑道に適した車止めの配置
(ゆうばえのみち)

【緑道を構成する樹林地の維持管理について】

緑道の維持管理手法や計画については樹林地の種別に応じて森づくりガイドラインでは補えない樹林地については新規で緑道再整備ガイドラインで維持管理の手法や計画を新たに定める。

樹林地種別

常緑樹林

竹林

スギ・ヒノキ林

雑木林

緑道沿いにもっともよく見られかつ特徴的な樹林

植栽林

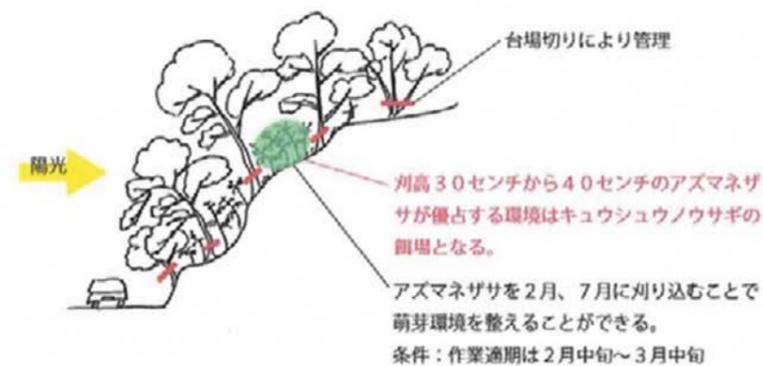
森づくりガイドラインで定義されていない樹林

森づくりガイドラインを活用 (H25年3月策定)



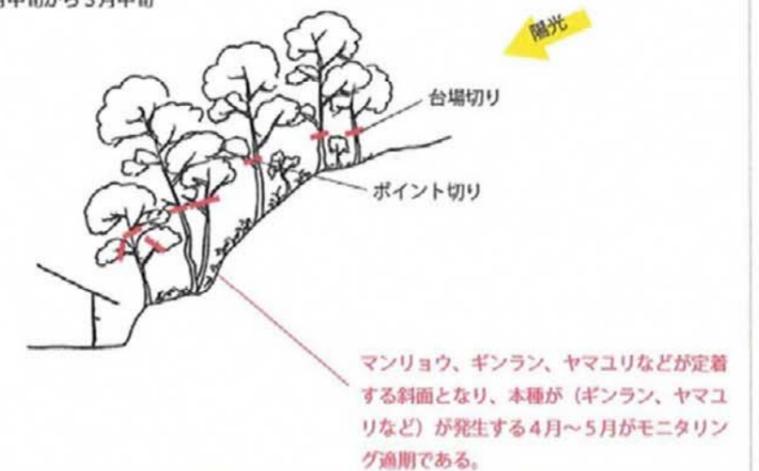
都筑区緑道再整備ガイドラインを活用 (新規)

南斜面・落葉樹林



北斜面・落葉樹林

日照確保が萌芽の発生と育成の条件となる。
作業適期は2月中旬から3月中旬



台場切り：通常の伐採で下草に埋もれないような高さで切ること。

ポイント切り：樹木を芽吹き位置でぶつ切りにし、高さを調整できる切り方。不定芽の分化を促す老齢木にも有効。